

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医事コンピュータ III Computer Medical III		2年	集中（前期）	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（電子カルテ検定対策講座）	医事コンピュータ I・II 履修者のみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
医学一般の科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医事コンピュータ I・II 医療秘書				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
古川貴子、小林大輔	本館2階	火・水・木・金の9時から16時（授業時間を除く）		授業中に指示します
授業の概要				
我が国のIT化に伴い、全国の病院も電子カルテシステムの導入が必須になっている。それに対応できる即戦力としての人材育成が求められる中、従来の医療事務知識プラス現場状況を踏まえた電子カルテ演習を中心に学習する。				
授業の目標				
①診療録・電子カルテ・ICD-10分類・DPCが病院業務の中でどのように繋がっているのか理解できるようにする。 ②電子カルテシステムの操作方法と関連知識を習得し、事例問題の解決ができるようにする。 ③電子カルテ検定試験に合格できるようにする。				
授業の方法				
毎回のテキスト・配布資料により、演習問題を中心に実践方式で授業を進める。				
学習の成果（学習成果）				
①診療録の重要性を説明できる。 ②電子カルテ・DPC請求についての基礎知識を業務に利用できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・電子カルテの概要（古川・小林）			
第2回目	電子カルテシステムとは（システムの全体像）（古川） 演習問題①診療所・外来			
第3回目	IT化の流れと診療録の電子化への道（国策による法的要件とその後の動き）（古川） 演習問題②診療所・外来			
第4回目	電子カルテの定義および機能（メリット・型）（古川） 演習問題③診療所・外来			
第5回目	電子カルテシステム関連知識（部門システム・オーダーリングシステム）（古川） 演習問題④病院・外来			
第6回目	電子カルテシステム関連知識（基本的機能・入力支援ツール）（古川） 演習問題⑤病院・外来			

第7回目	電子カルテシステム関連知識（クリニカルパス・レセプト・セキュリティー）（古川） 演習問題⑥病院・入院	
第8回目	電子カルテと医療機関におけるフロー（古川） 演習問題⑦病院・入院 *レポート（提出日は授業内で指示）	
第9回目	応用問題 I（古川）	
第10回目	応用問題 II（古川）	
第11回目	応用問題 III（古川） *レポート（提出日は授業内で指示）	
第12回目	応用問題 IV（小林）	
第13回目	応用問題 V（小林）	
第14回目	文書作成（診断書・主治医意見書等）（古川） *試験	
第15回目	文書作成（診療情報提供書・出生証明書等）（古川）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	理解しにくいところを積極的に質問している。授業に集中して取り組んでいる。
レポート	10%	課題の提出期限を守っている。内用と提出率で評価する。
調査報告書		
小テスト	20%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	40%	授業の目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容（態度含む）		
その他	10%	検定試験の合否により加点する。
教科書と参考図書		
電子カルテシステムの理解と演習（ケアアンドコミュニケーション）		
履修上の留意点・ルール		
演習問題が検定対策になるため、分からないところは必ず質問すること。 医事コンピュータ I・II、医療秘書演習 I は必ず履修すること。		